



# 物流ニッポン

2008年(平成20年)

6 | 5 (木)

発行/月曜日・木曜日 第3138号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)



## 鳥栖第二センター竣工

ヨコレイ九州の中核拠点

保管能力 2万2千ト 農畜産品や加工食品

【上田慎二】ヨコレイ建設を進めてきた鳥栖第

は五月三十日、佐賀県鳥栖市のクリン・ロジスティクス・パーク鳥栖に

二物流センターの竣工式を行った。九州の中核拠点を位置付け、九州自動車道・鳥栖ジャンクション(JCT)に近い好立

地を生かし、物流効率化を加速させる。鳥栖第一物流センターは九州自動車道、大分自動車道、長崎自動車道が交わる鳥栖JCTに隣接。九州全域、本州の山口、広島へも三時間圏内と、交通アクセスに優れている。

敷地面積は二万二千六百平方メートル、三階建てで延べ床面積が一万六千九百平方メートル。ドックシユルターを二十基備え、さらに五千パレットの移動ラック

を配置、搬入時の急激な温度変化に対応する。オゾン層を破壊しないアンモニア冷媒を採用するほか、太陽光発電や電動フォークリフトの導入を進め、環境保全と省エネルギー対策に取り組む。

竣工式で、吉川俊雄社長は、食の安全、安心に対する関心が高まる中、待望の物流センターが完成した。鳥栖地区のアクセスの良さと最新鋭の物流機能を活用し、多様で高度化する物流ニーズに

環境保全と省エネルギー対策も施す

は定温室(七氏五度)にて加工食品を取り扱う。既存の鳥栖物流センター(収容能力二万二千ト)は原料保管に充てる。庫内の冷気が自然対流する「天井ヘアピンコイル方式」を導入。ドックシユルターと冷蔵庫の間

を配置、搬入時の急激な温度変化に対応する。オゾン層を破壊しないアンモニア冷媒を採用するほか、太陽光発電や電動フォークリフトの導入を進め、環境保全と省エネルギー対策に取り組む。

鳥栖第一物流センターは九州自動車道、大分自動車道、長崎自動車道が交わる鳥栖JCTに隣接。九州全域、本州の山口、広島へも三時間圏内と、交通アクセスに優れている。

敷地面積は二万二千六百平方メートル、三階建てで延べ床面積が一万六千九百平方メートル。ドックシユルターを二十基備え、さらに五千パレットの移動ラック

を配置、搬入時の急激な温度変化に対応する。オゾン層を破壊しないアンモニア冷媒を採用するほか、太陽光発電や電動フォークリフトの導入を進め、環境保全と省エネルギー対策に取り組む。

環境保全と省エネルギー対策も施す

は定温室(七氏五度)にて加工食品を取り扱う。既存の鳥栖物流センター(収容能力二万二千ト)は原料保管に充てる。庫内の冷気が自然対流する「天井ヘアピンコイル方式」を導入。ドックシユルターと冷蔵庫の間

を配置、搬入時の急激な温度変化に対応する。オゾン層を破壊しないアンモニア冷媒を採用するほか、太陽光発電や電動フォークリフトの導入を進め、環境保全と省エネルギー対策に取り組む。

環境保全と省エネルギー対策も施す

は定温室(七氏五度)にて加工食品を取り扱う。既存の鳥栖物流センター(収容能力二万二千ト)は原料保管に充てる。庫内の冷気が自然対流する「天井ヘアピンコイル方式」を導入。ドックシユルターと冷蔵庫の間

を配置、搬入時の急激な温度変化に対応する。オゾン層を破壊しないアンモニア冷媒を採用するほか、太陽光発電や電動フォークリフトの導入を進め、環境保全と省エネルギー対策に取り組む。